



築港・天保山エリア

～戦略的な観光施策（広域行政）と
連携したまちづくりに向けて～

2015年9月8日（火）13:00～14:00
港区役所

経過と取り組み



**地域のにぎわいづくり
やコミュニティ形成を促進**

（市民協働的手法）

築港・天保山にぎわいまちづくり実行委員会の取り組み 天保山まつり 平成20年度から実施（8年目）



海遊館前広場のにぎわい（エリア北部）



区役所：実行委員会事務局

天保山まつり

港商店街のにぎわい（エリア中部）



USJパフォーマー（区内在住）によるパフォーマンス

区内企業の相撲部によるちゃんこ鍋振る舞い



天保山まつり

赤レンガ倉庫横広場のにぎわい（エリア南部）



【成果】

参画メンバー拡大、事業規模が年々拡大

開催エリア	海遊館広場のみ	エリア一帯	実行委員会	11団体	24団体
ボランティア数	20人	364人	協力・協賛企業	0団体	39団体

花の海遊ロード美化協議会の取り組み

平成21年度から実施（7年目）



「花の海遊ロード」（エリアのメイン通り）

〔取組内容〕

- ・花飾りによる美化活動（区役所が花種を提供、地元企業等がプランターを寄附、地域が花の育成）
- ・ベンチ型フットライト設置（地元企業等の寄附金：33基設置）
- ・船の汽笛を模した時報・植栽帯のウインターイルミネーション 等

〔メンバー〕

- ・地域住民、商店会、企業（9社）、行政（区・建設局・港湾局）

区役所：実行委員会事務局

【成果】

美化活動から

多様な「おもてなし」の活動へ



現状の課題

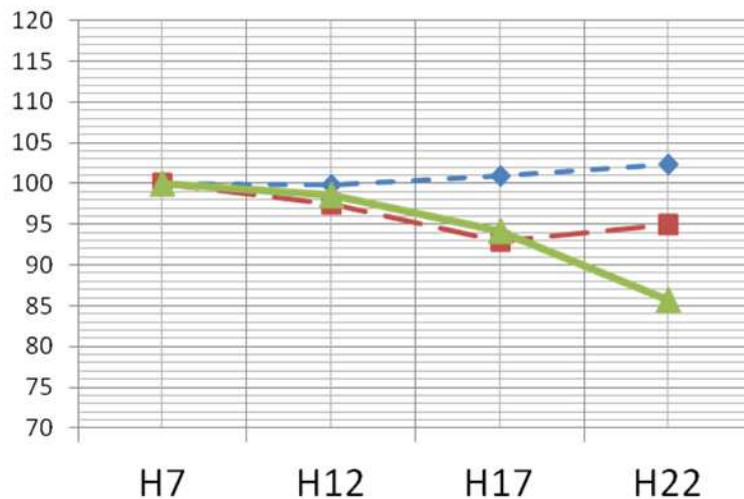


課題 : 恒常的なにぎわいに至っていない

課題 : エリア全体のにぎわいに至っていない

課題 : まちの衰退と人口の減少

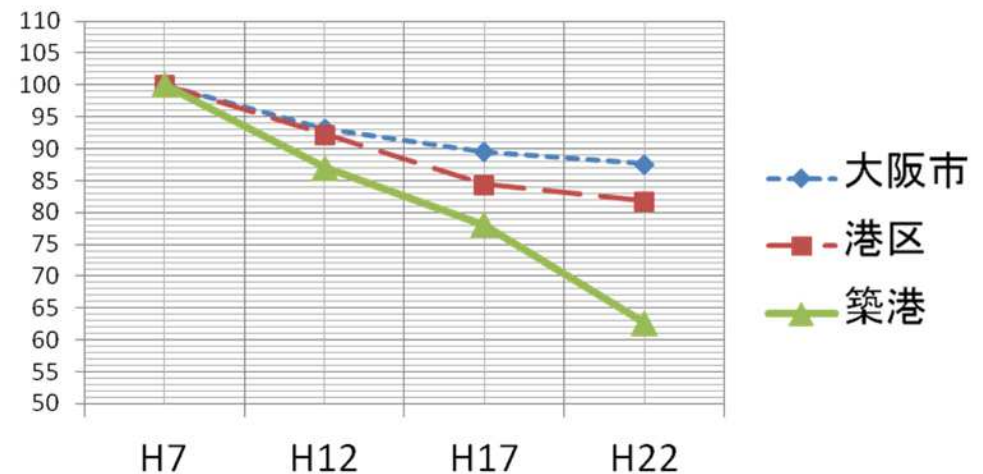
総人口の推移



築港地域の総人口の推移

H7:7,726人 H22:6,621人
(14.3%)
(大阪市 2.4%増 港区 5.1%)

0~14歳人口の推移



築港地域の0~14歳人口の推移

H7:991人 H22:621人
(37.3%)
(大阪市 12.4% 港区 18.2%)

今後の取り組みの考え方



課題（現状）

課題 : 恒常的なにぎわいに至っていない

課題 : エリア全体のにぎわいに至っていない

課題 : まちの衰退と人口の減少

広域の新たな位置づけ

大阪都市魅力創造戦略の重点エリアに！

戦略的な観光施策による内外からの集客力の強化

インナーハーバーの再生強化による集客観光拠点化

- ・赤レンガ倉庫の活用 (活用事業者と30年契約) 年間22百万円の収入
- ・中央突堤2号上屋の活用 (活用事業者と30年契約) 年間40百万円の収入

築港・ベイエリア地区 大阪都市魅力創造戦略の重点エリア



「クルーズ客船の母港化」「インナーハーバーの再生強化」

第7回大阪府市都市魅力戦略推進会議(27年6月) 資料抜粋



赤レンガ倉庫



中央突堤北岸壁に隣接する2号上屋（事業者活用）



27年11月1日より30年間の土地賃貸借を開始予定



中央突堤からの美しい夕陽



計画提案書より

用途：クラシックカー・高級中古車
販売、レストラン&カフェ、
ゲストハウス

年間集客数： 約7万人

今後の取り組みの考え方



戦略的な観光施策（広域行政）と連携したまちづくり

〔基礎行政〕

地域のにぎわいづくりと経済の振興（港区役所）

〔 魅力の創出や情報発信を、地域・民間ベースで活動資金を確保しながら持続的、自立的に推進することができる仕組みづくり（「（仮称）エリア観光協会」の設立） 〕

エリア魅力を活かした活力あるまちづくり（港区役所）

〔広域行政〕

国際集客観光拠点の形成をめざす（経済戦略局）

（国内外へのプロモーション、他の観光拠点との連携など）

「水都大阪の玄関口」としての取り組み（経済戦略局）

クルーズ客船の母港化など（港湾局）

（「世界に向けた海の玄関口」としての取り組み）